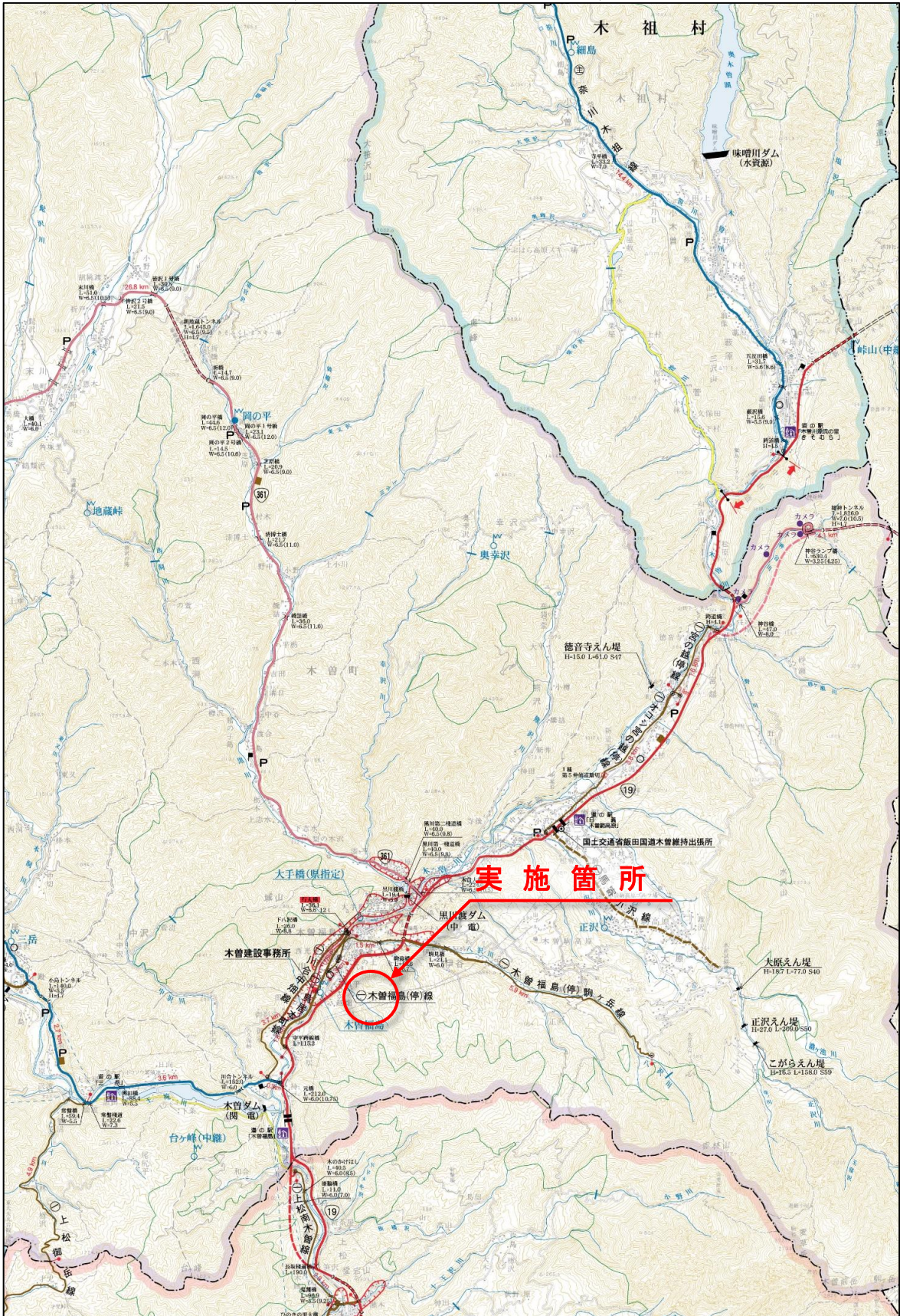


公共事業環境配慮書(案)

事業名称		
事業名	通常砂防事業	
整理番号	R2-1	
事業の種類	砂防堰堤の建設	
市町村名	木曾郡木曾町	
箇所名	万郡	
事業年度	平成29年度～令和3年度	
事業概要		
目的	万郡沢の流域では過去における災害実績が見受けられないものの、今後の降雨により溪床部に堆積した土砂が移動し、土石流災害を発生させる危険性がある。砂防施設の設置により、下流域の人家603戸や国道、鉄道、町役場等を保全する。	
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	砂防堰堤2基(1号:H=10.0m、L=106.0m 2号:H=7.5m、L=119.0m) 付替林道 L=650.0m W=3.0(4.0)m (1号:L=370.0m 2号:L=280.0m)	
関連する事業計画	なし	
その他特記事項	令和2年3月、一部区域(別添図面参照)について、要綱に基づき環境配慮書を公表する前に工事を実施していたことが判明した。直ちに工事を中断し施工状況等を確認したところ、以下に示す環境配慮の方針を満たす事業内容で工事が実施されていたことを確認した。 残りの区域については、今後、環境配慮書を作成、公表した後、その方針に沿って工事を行い、より一層の環境負荷の低減に努める。	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	砂防法の砂防指定地 森林法の保安林等	
その他	なし	
社会的要素	留意すべき地域の概況	
交通の現況	事業区域の西側に国道19号、県道鳥居本町線、JR木曾福島駅が位置する	
土地利用の現況	山地・丘陵である	
生活関連施設の現況	事業区域内に住居はない 事業区域の西側に木曾町役場、木曾福島郵便局等が位置する	
その他	特になし	
自然的環境要素	環境配慮の方針	
大気環境	留意すべき地域の概況	生活関連施設がある
	【大気汚染の防止】	
	・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。	
	・有害物質の使用、保管等の管理を徹底する。	
	・土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。	
	・防じんシートの設置を行い粉じんの飛散を防止する。	
	・排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	
	【騒音、振動の防止】	
	・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。	
	・低騒音・低振動型の建設機械を採用する。	
・防音壁、防音シート、緩衝緑地帯等の遮音設備・吸音設備を設置し、騒音を低減する。		
【悪臭の防止】		
・悪臭原因物質を使用しない又は使用量を削減する。		
・悪臭原因物質の使用、保管等の管理を徹底する。		
水環境	留意すべき地域の概況	河川・水田がある
	【水質汚濁の防止】	
	・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。	
	・チェーンソーを使用する際は生分解性チェーンオイルを使用する。	
	【水循環の保全】	
	・水田や地下水・湧水を保全する。	
	・地下水を使用しない又は使用量を削減する。	
・山間部においては流域界の変更や沢の埋立を避ける。		

地形・地質	留意すべき地域の概況	山地である 基盤岩は砂岩である 礫質土・粘性土が分布する
	【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】	
	・地すべり、崩壊、土石流等の危険性の高い地域や区域の改変を出来るだけ避ける。	
	【改変面積の最小化】	
	・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。	
	・段階的に工事を行い、広範な裸地の出現を防止する。	
	・工事により裸地化する箇所は早期の緑化・植栽を行う。	
	・工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。	
	・工事により一時的に改変する自然環境の原形復旧に努める。	
	・法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。	
野生動植物	留意すべき地域の概況	里山の地域である
	【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
	・自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変を出来るだけ避ける。	
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	・動物の移動経路の分断を出来るだけ避ける又は新たな移動経路を確保する。	
	・水際部を保全し、自然植生の連続性を確保する。	
	・回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な動物を生息適地へ移動させる又は生息環境を創出し移動を促す。	
	【動物の繁殖期における影響の低減】	
	・想定される影響はない。	
	【地域独自の生物多様性の保全】	
・想定される影響はない。		
【動植物への負担の少ない形状・素材の使用】		
・自然石、自然素材又は多自然型製品等動植物への負荷の少ない素材を使用する。		
景観	留意すべき地域の概況	山地景観を形成している
	【すぐれた景観の保全】	
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	
	【良好な景観の育成】	
・樹木の伐採は出来るだけ避ける又は植樹等による緑化に努める。		
自然とのふれあい	留意すべき地域の概況	特になし
	【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
	・想定される影響はない。	
【自然とのふれあい空間の創出】		
・想定される影響はない。		
文化財等	留意すべき地域の概況	特になし
	【文化財等への配慮】	
・想定される影響はない。		
廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。	
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	
【資源の有効利用】		
・再生骨材、木材チップ等の利用に努める。		
・自然石、県産木材等環境に負荷の少ない資材の使用に努める。		
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	
	・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	
【エネルギーの有効利用】		
・施設の建設にあたっては温室効果ガス削減に努めた計画とする。		
日照障害・電波障害・光害	【日照障害への配慮】	
	・想定される影響はない	
	【電波障害への配慮】	
	・想定される影響はない	
【光害への配慮】		
・想定される影響はない		

位置図



全体図 S=1:1000



国補通常砂防(事業間連携)(緊急対策事業) (砂)万郡沢 木曾郡木曾町 万郡

2号堰堤 H=7.5m L=119.0m  
付替林道 L=280.0m W=3.0(4.0)m

1号堰堤 H=10.0m L=106.0m  
付替林道 L=370.0m W=3.0(4.0)m

至(国)19号

中部電力  
中継木管埋設線  
N0144

A=534m<sup>2</sup> (平成30年度 施工済み範囲)

A=1,469m<sup>2</sup> (平成30年度 施工済み範囲)

A=1,405m<sup>2</sup> (平成30年度 施工済み範囲)

A=922m<sup>2</sup> (令和2年度以降施工範囲)

計画堆砂敷

A=1,608m<sup>2</sup> (令和元年度施工予定範囲)

A=8,142m<sup>2</sup> (堆砂敷)

A=4,821m<sup>2</sup> (令和2年度以降施工範囲)

A=8,217m<sup>2</sup> (堆砂敷)

令和2年度以降 施工予定  
砂防堰堤工一式  
付替林道工 L=135.5m

平成30年度 施工済み  
付替道路工 L=56.5m

令和2年度以降 施工予定  
付替林道工 L=88.0m

平成30年度 施工済み  
付替道路工 L=115.0m

令和元年度 施工予定  
砂防堰堤工一式  
付替林道工 L=45.0m

平成30年度 施工済み  
付替道路工 L=210.0m

# 平面図

SCALE=1:500 (A1) 1:1,000 (A3)

万郡沢 土石流補助基準点5  
 整備率 108.9%  
 堰堤工 (透過型)  
 H=10.0m, L=106.0m  
 付替道路工 W=3.0(4.0m) L=370.7m

A=1,469m<sup>2</sup> (平成30年度 施工済み範囲)

A=1,405m<sup>2</sup> (平成30年度 施工済み範囲)

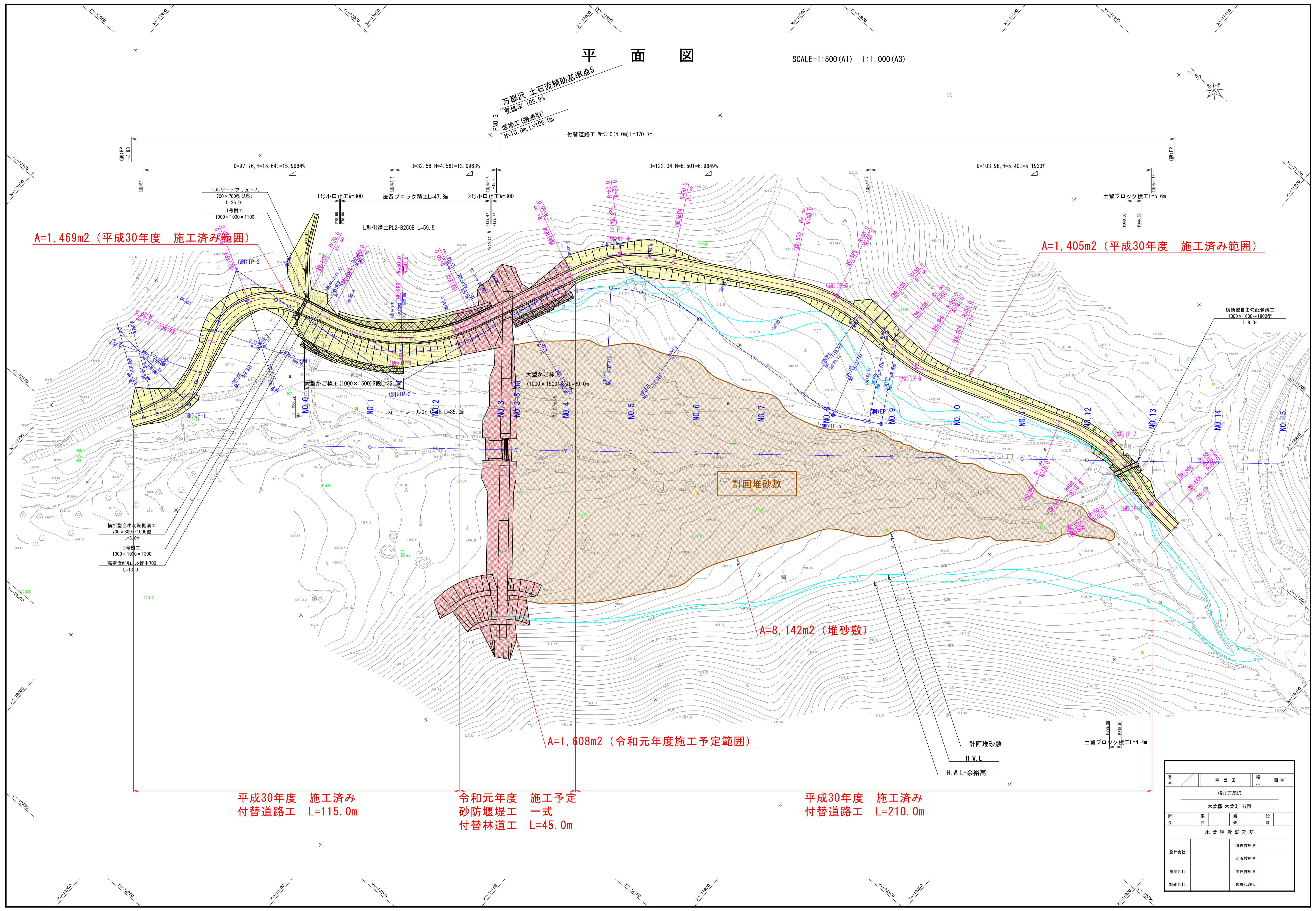
A=8,142m<sup>2</sup> (堆砂敷)

A=1,608m<sup>2</sup> (令和元年度施工予定範囲)

平成30年度 施工済み  
付替道路工 L=115.0m

令和元年度 施工予定  
砂防堰堤工 一式  
付替林道工 L=45.0m

平成30年度 施工済み  
付替道路工 L=210.0m

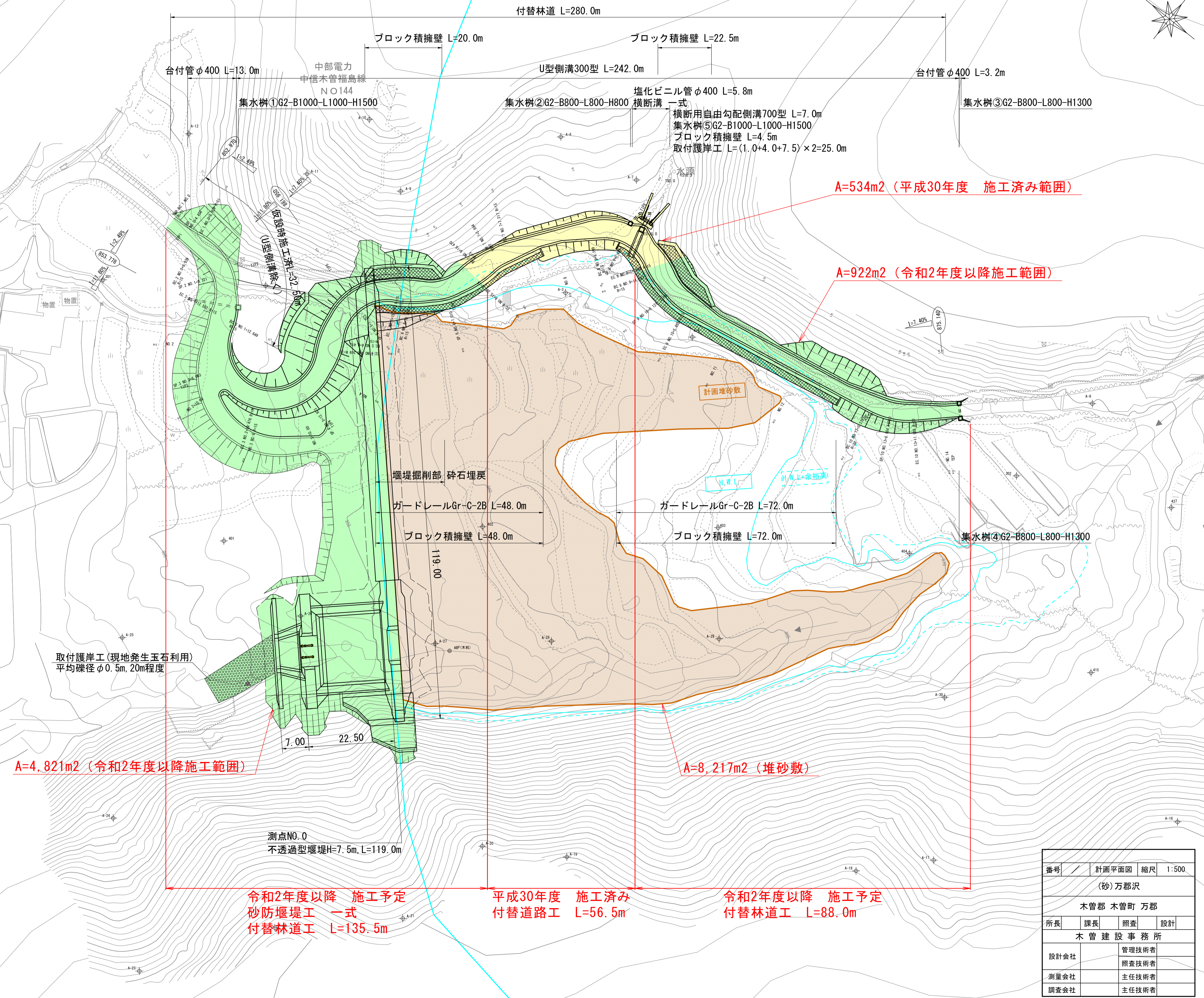


番号	平面図	縮尺	図示
(砂)万郡沢			
本管部 本管町 万郡			
所長	課長	調査	設計
木曾建設事務所			
設計会社	管理技術者		
	調査技術者		
測量会社	主任技術者		
調査会社	現場代理人		

# 計画平面図 S=1:500

基準点座標一覧表

測点	X	Y
301	-17703.090	-72363.177
302	-17921.486	-72252.670
401	-17770.692	-72396.478
402	-17821.072	-72350.970
403	-17869.209	-72312.374
404	-17912.449	-72286.127
405	-17939.528	-72204.791
406	-17966.639	-72156.508
407	-18002.872	-72099.299
408	-18052.921	-72067.902
409	-18117.930	-72024.340
410	-18126.853	-72054.049
411	-18084.679	-72095.369
412	-18049.088	-72129.795
413	-18010.125	-72176.574
414	-17999.818	-72255.299
415	-17969.082	-72280.488
421	-17985.580	-72125.488
422	-18029.489	-72053.375
423	-18049.041	-72016.246
424	-18070.296	-71983.862
425	-18090.430	-71955.905
426	-18130.620	-71960.043
427	-18172.537	-71959.706
428	-18208.172	-71914.834
429	-18227.718	-71947.787
430	-18205.873	-71982.819
431	-18171.942	-72015.479
432	-18136.003	-72035.570
433	-18095.813	-72071.608
434	-18060.673	-72087.536
435	-18029.725	-72115.354
436	-17980.017	-72199.416
437	-17958.238	-72233.649
A-1	-17737.176	-72337.563
A-2	-17769.490	-72319.923
A-3	-17799.454	-72289.643
A-4	-17832.588	-72277.809
A-5	-17881.203	-72265.641
A-6	-17925.064	-72225.470
A-7	-17795.321	-72255.005
A-8	-17772.831	-72258.677
A-9	-17749.134	-72296.107
A-10	-17730.911	-72286.669
A-11	-17727.188	-72308.018
A-12	-17696.512	-72319.319
A-13	-18021.541	-72237.357
A-14	-18058.841	-72230.079
A-15	-18052.391	-72267.166
A-16	-18011.270	-72296.634
A-17	-17967.903	-72344.623
A-18	-17953.849	-72359.570
A-19	-17895.289	-72404.407
A-20	-17873.633	-72416.092
A-21	-17869.308	-72443.913
A-22	-17844.772	-72466.872
A-23	-17824.298	-72498.030
A-24	-17793.794	-72471.171
A-25	-17765.922	-72432.917
A-26	-17798.698	-72399.131
A-27	-17830.695	-72382.556
A-28	-17853.947	-72362.930
A-29	-17887.728	-72334.856
A-30	-17943.324	-72309.619



番号	計画平面図	縮尺	1:500
(砂)万郡沢			
木曾郡 木曾町 万郡			
所長	課長	照査	設計
木曾建設事務所			
設計会社	管理技術者		
	照査技術者		
測量会社	主任技術者		
調査会社	主任技術者		